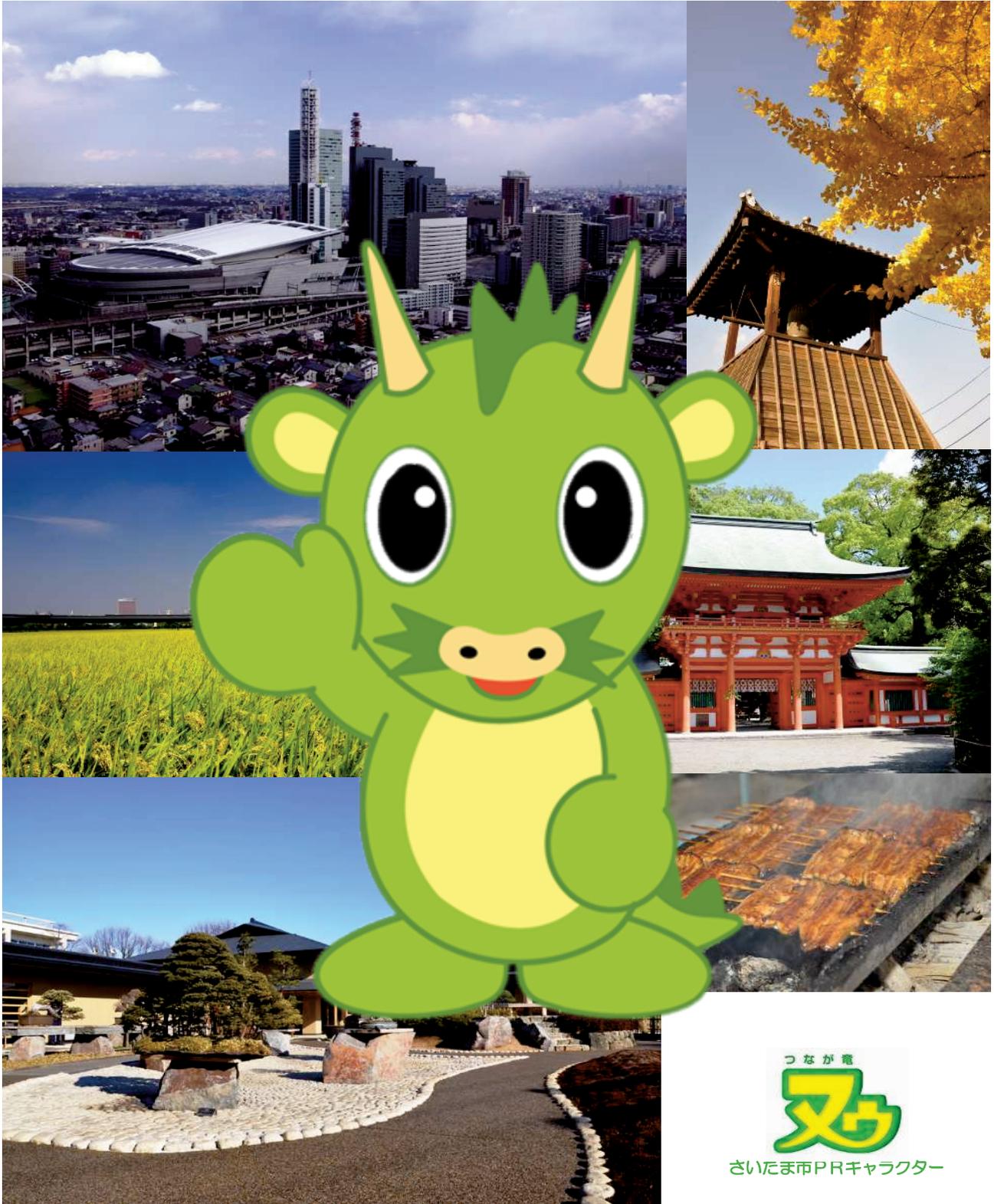


令和2年6月
さいたま市の財政



さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、令和2年度の当初予算の概要と令和元年度下半期の財政状況をお知らせします。

なお、本冊子は、令和2年3月31日現在の状況を基に調製しています。この状況に出納整理期間※の変動を加えることで、決算として確定します。決算の概要については、12月号で公表を予定しています。

※「出納整理期間」とは

3月末日までに確定した債権・債務を整理するための期間として、5月末日までの2か月間設けられているもの。

もくじ

1	令和2年度当初予算の概要	1
2	令和元年度歳入歳出予算の執行状況	
	・一般会計	3
	・特別会計	5
3	令和元年度予算の使いみちと市税負担	7
4	財産、地方債及び一時借入金の現在高	8
5	企業会計の状況	9

1 令和2年度当初予算の概要

予算の特徴

「市民一人ひとりがしあわせを実感できる“絆”で結ばれたさいたま市」、「誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市」を実現するため、令和元年度補正予算から令和2年度当初予算までを切れ目のない一連の予算として編成するとともに、総合振興計画後期実施計画など主要な計画の総仕上げを行い、2021年の先の「新たなさいたま市の創造」に向けた更なる成長・発展につながる事業について予算を重点配分

- ◆ 東京2020大会の本市開催を好機と捉えて更なる成長を図る予算
- ◆ 令和元年台風第19号による災害を教訓として防災・減災対策を一層強化する予算
- ◆ Society 5.0の時代に対応した「スマートシティ」の取組を加速化する予算

予算の総額

一般会計

福祉、教育、医療、道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。一般会計は1つしかありません。

福祉

土木

教育

など

当初予算額	(前年度)
5,627億円	(5,568億円)
対前年比	1.1%増

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には14の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

当初予算額	(前年度)
3,167億円	(3,118億円)
対前年比	1.6%増

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益で賄われている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

当初予算額	(前年度)
1,264億円	(1,380億円)
対前年比	8.4%減

全会計合計

当初予算額	(前年度)
1兆58億円	(1兆66億円)
対前年比	0.1%減

主な事業

重点事業

- ◆ 東京2020大会に向けた事業 【予算 6億8,900万円】
- ◆ 防災・減災対策事業 【予算 42億2,591万円】
- ◆ 「スマートシティ」の取組 【予算 3億4,843万円】

01

環境 アメニティ

廃棄物処理施設の安定的な稼働【予算 1億8,002万円】

老朽化が進んでいる西部環境センターと東部環境センターを統廃合し、新たにサーマルエネルギーセンターを整備します。

02

健康 福祉

保育所整備に係る補助金の拡充【予算 57億4,579万円】

待機児童の解消に向け、賃貸物件を活用した認可保育所整備に係る補助金を拡充し、更なる保育所等の施設整備を推進します。

03

教育・文化 スポーツ

ICTを活用したアクティブ・ラーニングの推進【予算 3億306万円】

中学校21校及び小学校35校にタブレット型コンピュータ等を整備します。

04

都市基盤 交通

東日本の対流拠点にふさわしい都市機能の充実・強化【予算 1億4,644万円】

大宮駅グランドセントラルステーション化構想に基づき、交通基盤整備、駅周辺のみちづくり、駅機能の高度化を一体的に推進します。

05

産業 経済

海外市場への販路開拓の促進【予算 3,537万円】

欧州産業クラスターとの技術交流や海外展示会を通じ、中小企業の国際展開を推進するとともに、産学官金連携による技術力向上を支援します。

06

安全 生活基盤

安全で楽しく遊べる公園づくり【予算 1億9,409万円】

公園遊具について安全性の向上を図る修繕や更新等の対策を実施します。

07

交流 コミュニティ

自治会運営及び情報発信の支援【予算 2億8,473万円】

自治会及び自治会連合会の運営に要する経費を補助するとともに、新たに、さいたま市自治会連合会のホームページ作成を支援します。

08

高品質経営 プログラム

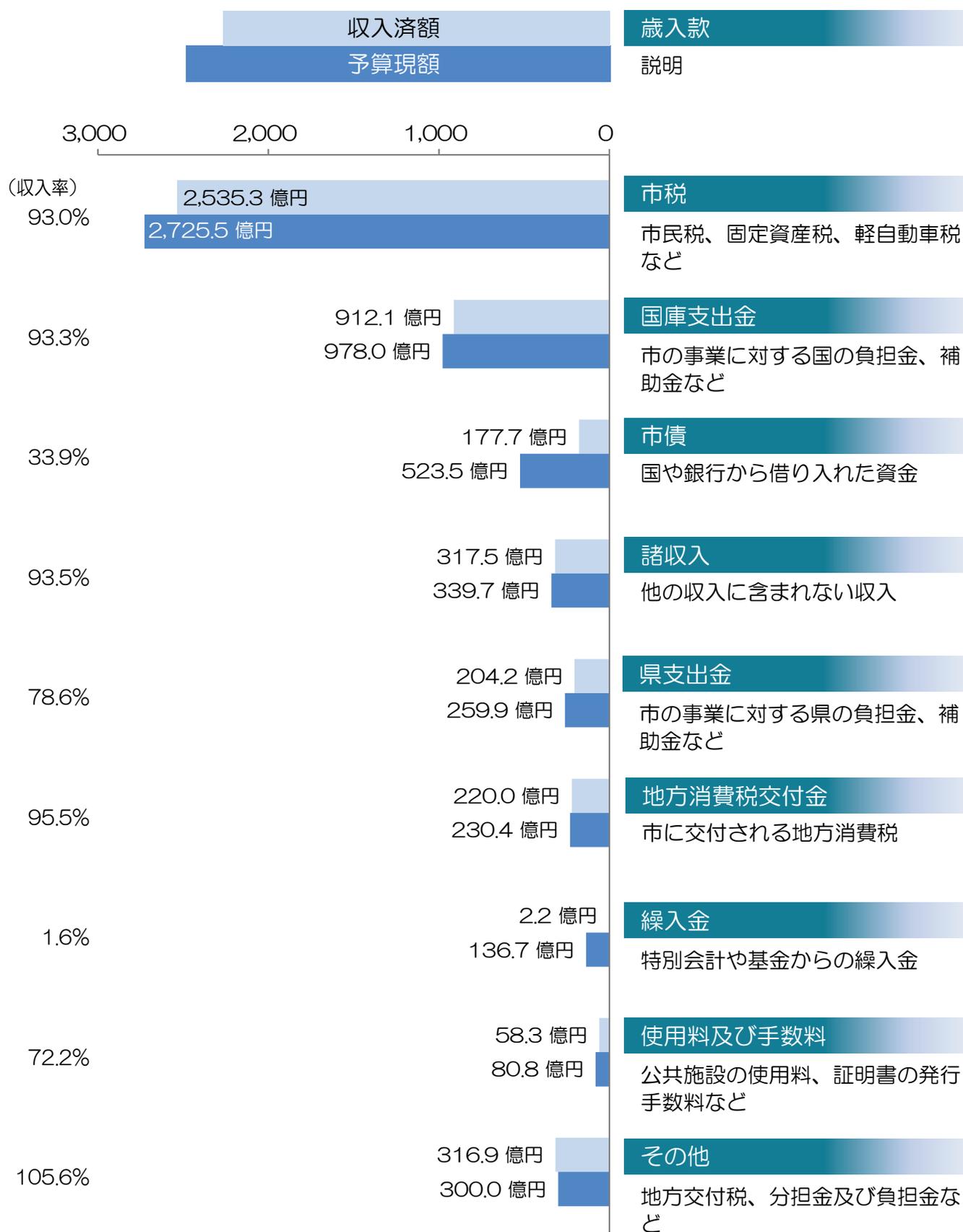
ICTを利活用した働き方改革の推進【予算 1,913万円】

庁内会議等におけるテレビ会議システムの導入、税部門を中心としたRPAシステムの利用拡大及びモバイルワーク端末の試行利用を実施します。

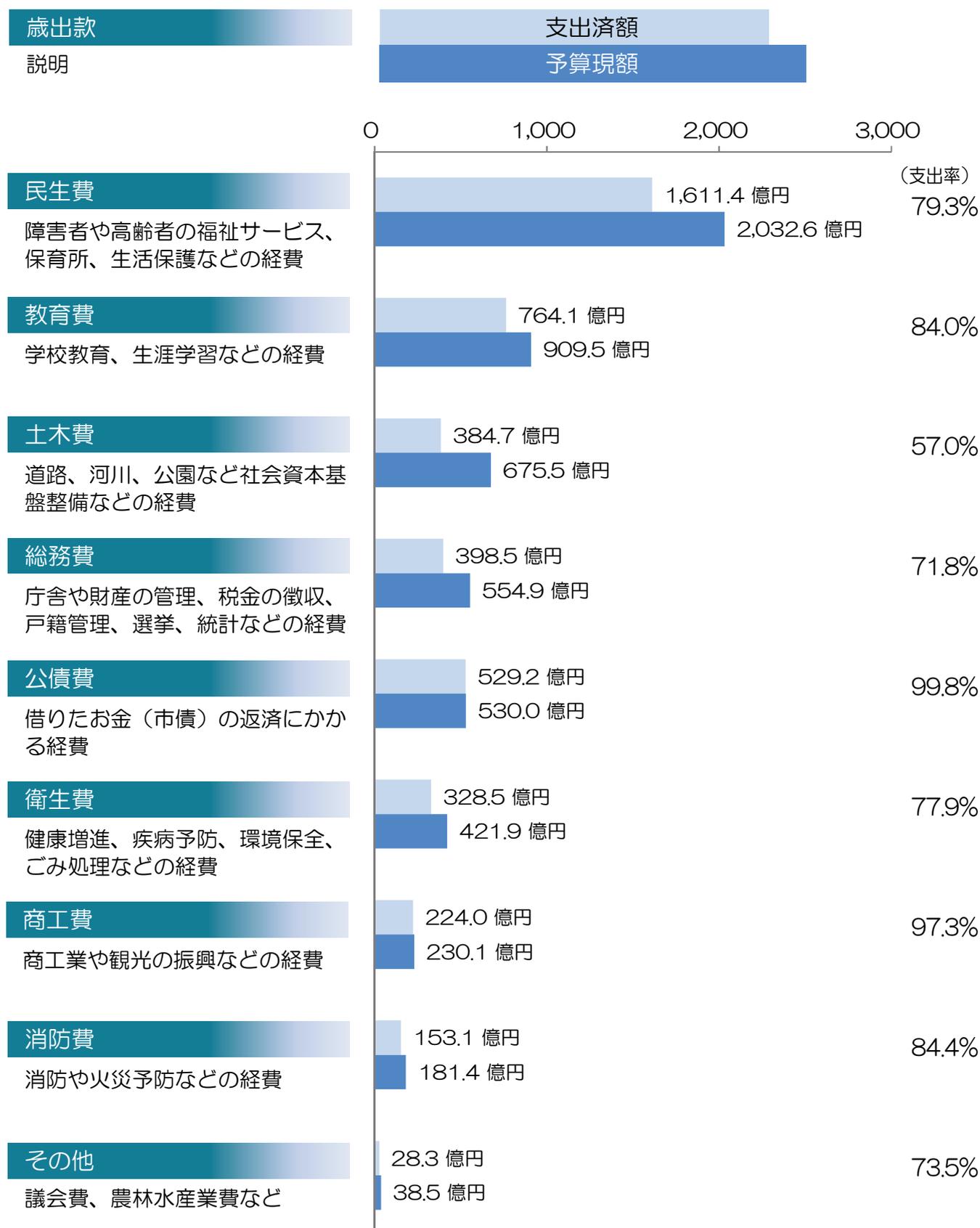
2 令和元年度歳入歳出予算の執行状況

一般会計

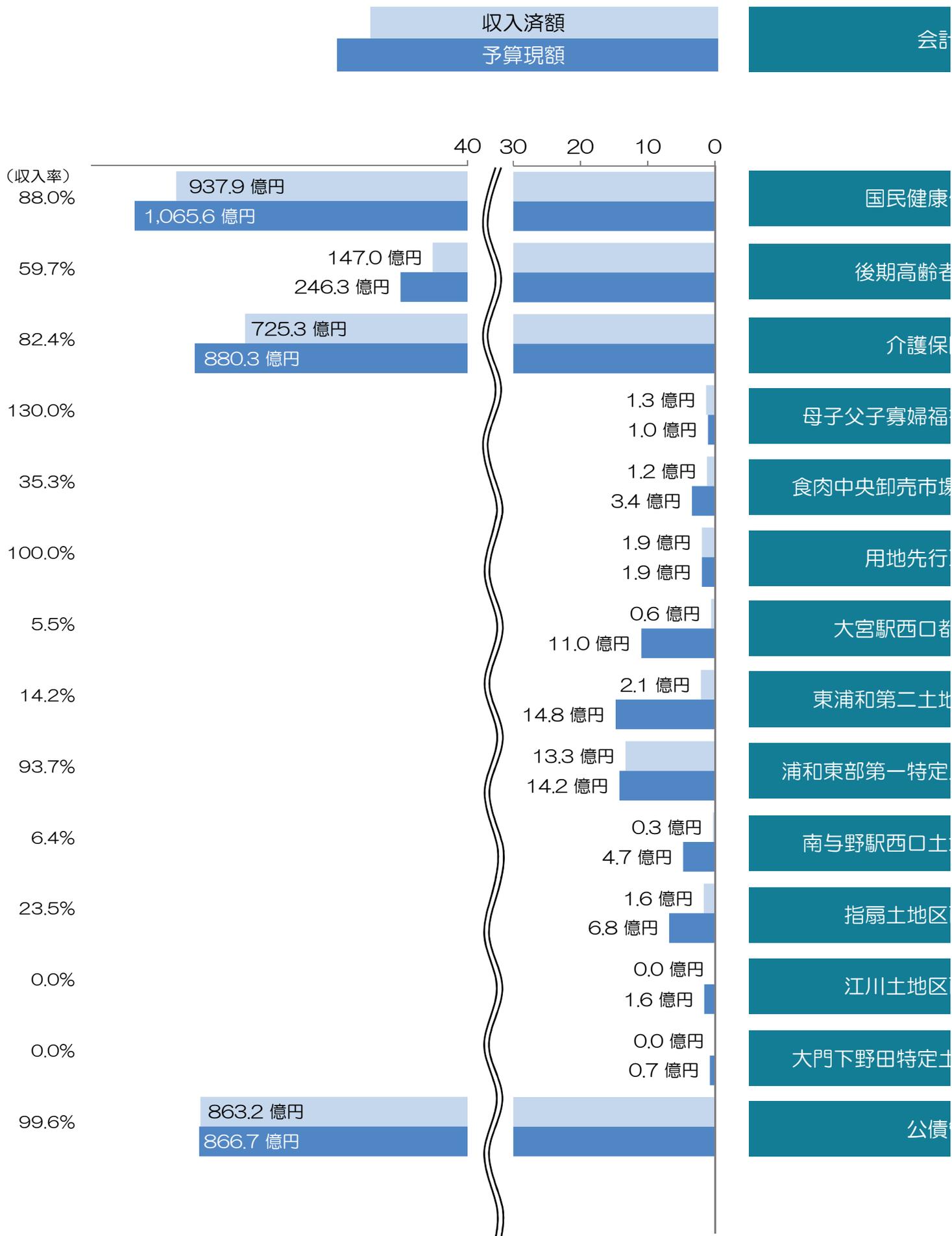
$$\text{歳入} = \frac{\text{収入済額 } 4,744\text{億}3,213\text{万円}}{\text{予算現額 } 5,574\text{億}4,390\text{万円}} = \text{収入率 } 85.1\%$$

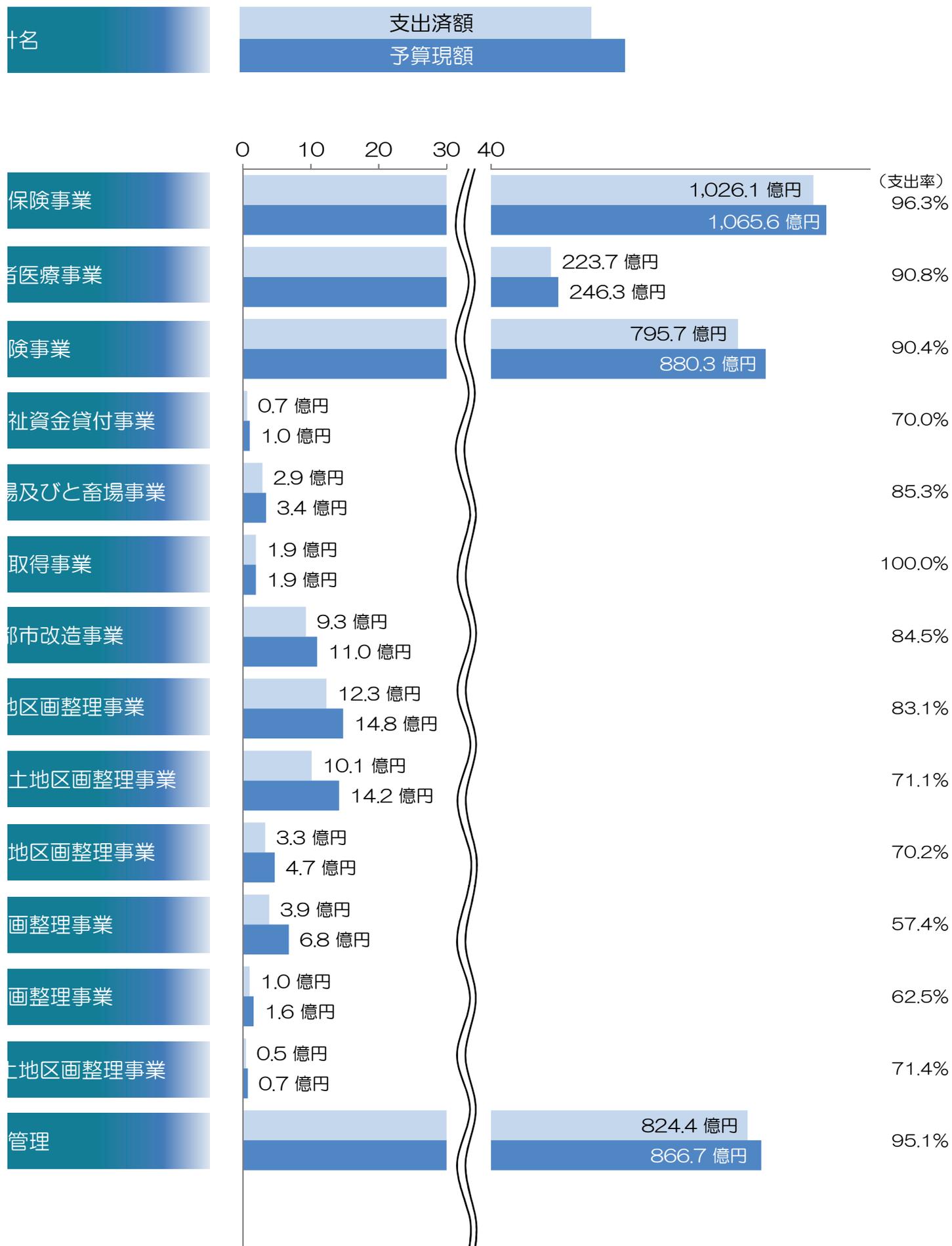


歳出 $\frac{\text{支出済額 } 4,421\text{億}7,559\text{万円}}{\text{予算現額 } 5,574\text{億}4,390\text{万円}} = \text{支出率 } 79.3\%$



特別会計





3 令和元年度予算の使いみちと市税負担

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

市民一人当たりの予算の使いみち

1

民生費



154,178円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

422,830 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※令和2年4月1日現在の人口（1,318,363人）を基に算出（以下同様）。

2

教育費



68,983円

3

土木費



51,241円

4

総務費



42,087円

5

公債費



40,202円

6

衛生費



32,003円

7

商工費



17,454円

8

消防費



13,760円

その他

農林水産業費
議会費
労働費
予備費
災害復旧費

2,922円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

206,734 円

市民税



116,684円

固定資産税



65,765円

都市計画税

14,138円

市たばこ税

5,562円

事業所税

3,529円

軽自動車税

1,052円

その他

4円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

財産の現在高

土地	建物	基金
		
3,138万㎡	271万㎡	693億円

その他の財産

区分	令和元年度末現在高
立木	7,274㎡
物権	27万㎡
動産	なし
無体財産権	14件
有価証券	97億円
出資による権利	17億円
不動産の信託受益権	なし
物品	4,404点
債権	33億円

※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

※基金の現在高（内訳）

- ・財政調整基金：年度間の財源不均衡を調整するために設置される基金で、決算剰余金等を積立て、必要に応じて取崩しを実施 242 億円
- ・減債基金：地方債の償還を計画的に行うために設置される基金で、計画に応じて積立て・取崩しを実施。 173 億円
- ・その他特定の目的のために設置される基金：公共施設の老朽化対策など、事業の目的に応じて積立て・取崩しを実施。 278 億円

地方債の現在高

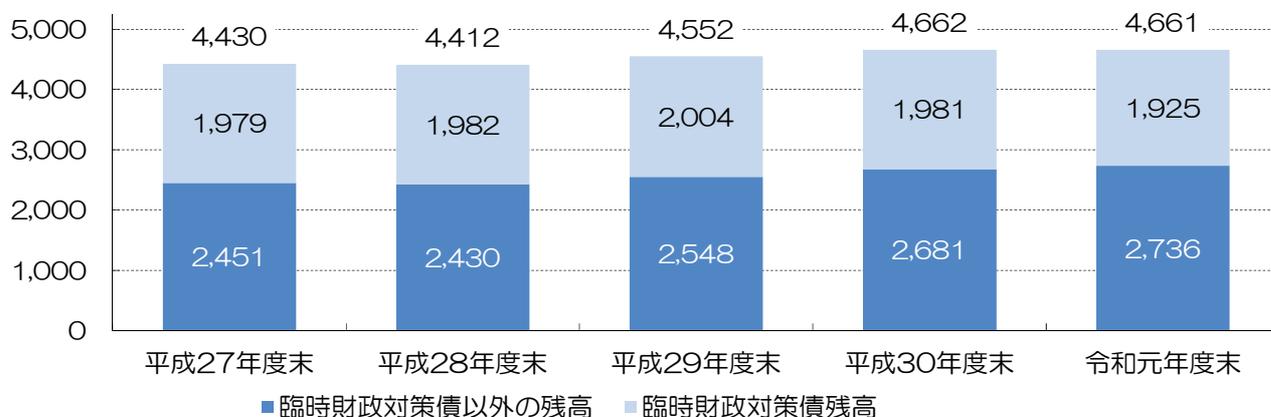
(単位：億円)

会計	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	
一般会計	4,430	4,412	4,553	4,662	4,661	
特別会計	160	139	130	120	103	
企業会計	水道事業	570	536	514	480	445
	病院事業	16	29	47	83	341
	下水道事業	1,796	1,800	1,808	1,812	1,806
合計	6,973	6,917	7,051	7,157	7,357	

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

(参考) 地方債の現在高の推移（一般会計）

(単位：億円)



一時借入金の現在高

平成元年度上半期に引き続き、令和元年度下半期における借入れはなく、令和元年度末の残高はありません（一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。）。

5 企業会計の状況

水道事業

水道事業では、昭和12年（1937年）の給水開始以来、6期の拡張事業を重ね、ほぼ100%の普及率となっていますが、普及率が著しく向上した高度経済成長期に建設した多くの施設の老朽化が進み、大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの向上も必要となっており、これらに係る財源の確保が課題となっています。

水道局では、このような時代や環境の変化に対応するため、平成26年12月に改訂した、さいたま市水道事業長期構想に基づき効率的、効果的な事業運営に努めていきます。

令和2年度当初予算の概要

当初予算額 48,702,288千円

(主な事業) (単位：千円)

水道施設整備事業 11,549,936

水の安定的な供給を図るための施設整備を推進します。

病院事業

本市が運営する唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域の基幹病院として、地域医療における中核的な役割を果たしていますが、救急・周産期・災害等の不採算・特殊部門に係る医療の多くを公立病院が担っている中、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっています。

このような状況の下、新たに医療機能の拡充・強化を行ったさいたま市立病院では、市民が地域の中で必要な医療を受けることができる「地域完結型医療の要」として、安定した医療提供体制を維持するため、中期経営計画に基づき、医療機能の充実と健全な経営基盤の確立を図る必要があります。

令和2年度当初予算の概要

当初予算額 27,432,841千円

(主な事業) (単位：千円)

市立病院施設整備事業 1,134,036

外構の整備及び周産期棟の改修を実施します。

下水道事業

公衆衛生の向上、生活環境の改善を実現し、水循環を形成するとともに、大雨等による自然災害に対して、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりに資するため、主要事業である下水道汚水事業、下水道浸水対策事業、下水道施設老朽化対策事業を推進していきます。

また、平成29年3月に策定した「さいたま市下水道事業中期経営計画（平成29年度から平成32年度まで）」に基づき、現行使用料体系を維持するとともに、下水道サービスを持続的に提供していくための経営基盤強化に努めていきます。

令和2年度当初予算の概要

当初予算額 50,245,834千円

(主な事業) (単位：千円)

下水道汚水事業 3,732,671

合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の汚水整備を推進します。

下水道浸水対策事業 3,559,043

浸水被害の軽減を目的とした雨水貯留施設及び雨水管の整備を推進するとともに、新たに浸水シミュレーションを活用した内水ハザードマップを作成します。

下水道施設老朽化対策事業 3,471,831

老朽化した下水道施設について、改築及び耐震化を実施します。

令和元年度計理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	221,015,096
(1) 固定資産	202,814,710
(2) 流動資産	18,200,386
負債	83,335,084
(1) 固定負債	42,772,346
(2) 流動負債	11,142,622
(3) 繰延収益	29,420,116
資本	133,117,487
(1) 資本金	124,452,619
(2) 剰余金	8,664,868
収益	30,528,475
うち営業収益	29,147,229
費用	25,965,950
うち営業費用	24,983,551

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	33,034,193	98.6%	27,607,689	95.5%
資本的収支	1,479,299	81.4%	15,764,576	75.3%

事業の概況 (令和元年度下半期)

項目	前年同期	当期	対前年度
給水件数	608,356	616,125	101.3%
給水量 (m ³)	66,003,740	66,437,200	100.7%
一日平均給水量 (m ³)	362,658	363,044	100.1%

令和元年度計理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	49,115,792
(1) 固定資産	44,059,301
(2) 流動資産	5,056,491
負債	42,412,558
(1) 固定負債	37,978,807
(2) 流動負債	3,674,081
(3) 繰延収益	759,670
資本	9,651,587
(1) 資本金	8,763,762
(2) 剰余金	887,825
収益	17,837,939
うち医業収益	15,374,842
費用	20,786,292
うち医業費用	18,195,828

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	17,865,761	99.4%	20,764,540	93.9%
資本的収支	26,170,384	94.5%	28,359,686	92.3%

事業の概況 (令和元年度下半期)

項目	前年同期	当期	対前年度	
病床数	567	637	112.3%	
入院患者数	一般病床	85,302	76,886	90.1%
	結核・精神	1,150	1,382	120.2%
一日平均入院患者数	一般病床	468.7	420.1	89.6%
	結核・精神	6.3	7.6	120.3%
外来患者数	115,296	109,339	94.8%	
一日平均外来患者数	960.8	918.8	95.6%	

令和元年度計理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	420,982,215
(1) 固定資産	410,272,726
(2) 流動資産	10,709,489
負債	286,060,866
(1) 固定負債	169,271,742
(2) 流動負債	16,218,422
(3) 繰延収益	100,570,702
資本	133,974,770
(1) 資本金	131,056,472
(2) 剰余金	2,918,298
収益	24,517,060
うち営業収益	21,398,482
費用	23,570,481
うち営業費用	20,757,449

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	25,987,758	99.7%	24,243,516	98.3%
資本的収支	13,476,510	70.3%	24,962,604	76.9%

事業の概況 (令和元年度下半期)

項目	前年同期	当期	対前年度
汚水処理戸数	517,680	529,358	102.3%
汚水処理水量 (m ³)	66,594,380	71,898,728	108.0%
一日平均汚水処理水量 (m ³)	365,903	392,889	107.4%



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は63円（概算）です。

令和2年6月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1154